上辺マージン 20㎜

この枠は架空の枠です

【土木構造・材料論文集 第 40 号 2024 年 12 月】

2 行あける

橋梁断面の部材配置による耐風制振について

1 行あける

Improvement of Aerodynamic Characteristics of Truss-stiffened Bridge by the Arrangement of Structural Members

20㎜ 以上あける

20㎜ 以上あける

1 行あける

加部瀬 太郎 [1*], 土木 次郎 [2]

Taro KABUSE and Jiro DOBOKU

1 行あける

[1] 正会員 ㈱〇〇建設 福岡支店 設計部部長 (〒812-0013 福岡市○○区○○3 丁目)

[2] 正会員 工博 ○○大学教授 工学部○○工学科 (〒860-0125 熊本市○○2 丁目)

*Corresponding Author, E-mail: kabse@jsce.ac.jp

1 行あける

近年トラス補剛吊橋のフラッター制振効果に関する研究が色々な角度から検討されてきている．それらの研究のほとんどは，構造設計断面にフィンやフラップなど種々の形状をした付加物を取り付けることによって，その耐風特性を改善することに主眼を置いている．

5 文字あける

5 文字あける

筆者らは，付加物を取り付けることなく，設計断面そのものの構造形状を生かし，これらの構造部材の配置選定によって，耐風特性の改善がなされないかとの見地に立ち研究を行ってきている．本論文は，橋梁断面の耐風特性改善にあたって，主構とその部位位置関係をパラメータとして検討したものである．

キーワード：*times*，*italic* ，*9pt*，*English*，*max7* 英語で 4～7 語程度、一行以内とする。

1 行あける

2 文字または 7㎜ 程度あける

左辺マージン 20㎜

右辺マージン 20㎜

1. はじめに

2022 年度から土木学会論文集に準じる表記にできるだけ変更しています．これまでとの変更点を青字で記載しています．赤字・赤枠は，投稿時には必要ありません．削除してください．また責任著者を明記することにしました．「*Corresponding Author, Email:」のあとに必ず連絡が取れるメールアドレスを記載してください．

1 行あける

2. 構成側モデル

金属材料の単結晶モデルとして，古典的な Schmit の法則に基づき有限な変形の範囲まで拡張されたものを求める．

1 行あける

2.1 運動学的挙動

任意点の速度ベクトルを $\boldsymbol{V}$ と表わすと，変形速度テンソルの成分 D_{ij} は次のように与えられる．

$$D_{ij} = (V_{i,j} + V_{j,i}) \tag{1}$$

ここに，コンマは微分演算を表わす．

1 行あける

2.2 変形の局所化-不安定

〇〇〇

上辺マージン 20mm

下辺マージン 25mm

図-3　圧縮強度と引張強度の関係

1 行あける

表-2　軸力を受ける短柱のせん断耐力結果

1 行あける

改訂案に示されている f_{ck}' は試験強度の保証値であり，また材料係数 γ_c には，通常 1 以上の値を用いるため，実際の設計では十分安全側に引張強度は推定されることになる．

左辺マージン 20mm

これは，引張強度試験が割裂方法であるため，供試体表面の乾燥の影響を○○○